

授業科目	在宅看護援助論Ⅱ (経過別看護)	単位数	1 単位	講師名	看護師・看護教員
		時間数	30 時間		
学年	2 学年	履修期	後期		
授業の目標	1. 疾患や障害を持ちながら在宅で生活する療養者やその家族に必要な援助を学ぶ。 2. 在宅療養する療養者の看護を展開する。				
授業内容 (授業計画)	(25 時間)		(5 時間)		
	1. 療養を支える看護技術 (医療ケア) 1) 医療ケアの原理原則 2) 薬物療法 3) がん外来科学療法 4) 在宅経管栄養法 (HEN) 5) 輸液管理 (在宅中心静脈栄養法、抹消静脈栄養法) 6) 在宅酸素療法 (HOT) 7) ストーマ管理 8) インスリン自己注射管理 9) 褥瘡管理 10) 足病変管理 11) 疼痛管理 2. 在宅看護の実際 1) 在宅での生活を希望する脳卒中後遺症のある高齢者 2) COPD の療養者に対する在宅看護 2) 事故により中途障害者となった成人男性 3) 在宅での生活を希望する精神障害者 4) 重症心身障害で地域で生活する小児 3. 事例で学ぶ在宅看護の技術 1. 在宅での自己管理を続けている糖尿病のある独居高齢者 2. 在宅での生活を希望する脳梗塞後遺症のある高齢者 3. 在宅で生活を希望する精神障害者 4. 地域で生活する重症心身障害児		1. 在宅看護の展開 1) 在宅看護過程展開のポイント 2) 在宅看護過程の展開方法 2. 在宅看護の実際 1) ALS で人工呼吸療法を実施する療養者の在宅看護の事例展開		
評価方法	1. 筆記試験 2. レポートにより評価				
注意事項	特記なし				
教科書	1. ナーシンググラフィカ 在宅看護論① 地域医療を支えるケア (メディカ出版) 2. ナーシンググラフィカ 在宅看護論② 地域医療を支えるケア (メディカ出版)				
参考図書	系統看護学講座 統合分野 在宅看護論 (医学書院) よくわかる在宅看護 (Gakken)				